



高 梁 川 流 域
ライター塾

2020 - 2024
5年間の活動報告書



一般社団法人
はれとこ



高 梁 川 流 域
ライター塾

私たちが目指しているのは、

地域の活気や可能性、独自の魅力を収集・整理・保存し、

多くの人々に地域の魅力を伝えることです。

これまでの活動を通じて、私たちは、

地域情報の発信・拡散が、地域で活動する人々の勇気や努力を称え、

新たな出会いや経済活動を生み出し、

地域の活性化につながると確信しています。

しかし、「地域のために何かをしたい」との想いがあっても、

実際の行動に至るには大きな壁を感じる人が多いことを、

Webメディアの運営を通じて感じました。

このため、「地域のための活動」の第一歩として「地域の情報発信」という手段を提案し、

情報発信をするための知識やスキルを習得すると同時に、

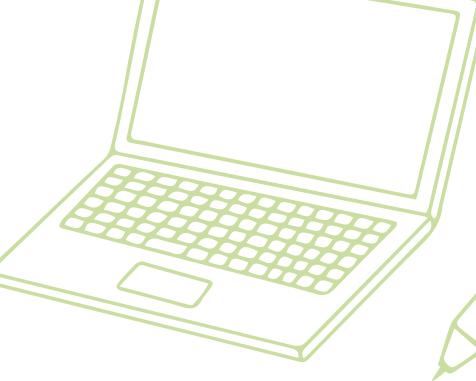
情報発信の場をご提供したいと考えました。それが「高梁川流域ライター塾」です。

5年間の活動で、500人を超える方にご参加いただきました。

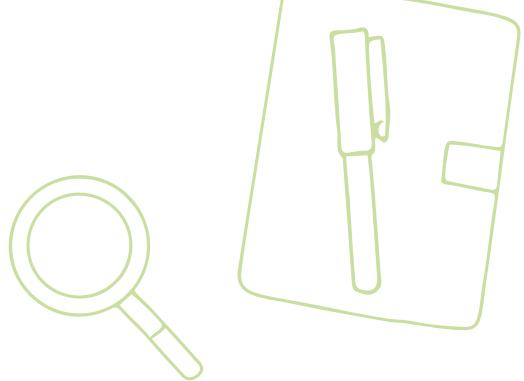
そして、同じ想いで活動する情報発信者（私たちは「市民ライター」と定義しています）は、

全国で50名以上誕生し、地域情報を日々発信しています。





開催実績



高梁川流域ライター塾 2020 (プレ開催)

期間 2021年2月7日から3月7日まで全6回
 会場 倉敷市／オンライン
 受講料 無料
 申込人数 9人
 一般社団法人高梁川流域学校からの委託事業

高梁川流域ライター塾 2023

期間 2023年9月3日から10月22日まで全8回
 会場 井原市・矢掛町／オンライン
 受講料 8,000円 ※学生は無料
 申込人数 128人
 (公財)福武教育文化振興財団 2023年度 教育文化活動助成 採択事業

高梁川流域ライター塾 2021

期間 2021年9月12日から11月14日まで全8回
 会場 笠岡市／オンライン
 受講料 無料
 申込人数 207人
 倉敷市 令和3年度高梁川流域地域づくり連携推進事業 採択事業

高梁川流域ライター塾 2024

期間 2024年9月1日から10月5日まで全8回
 会場 倉敷市／オンライン
 受講料 12,000円 ※学生は無料
 申込人数 107人
 (公財)福武教育文化振興財団 2024年度 教育文化活動助成 採択事業

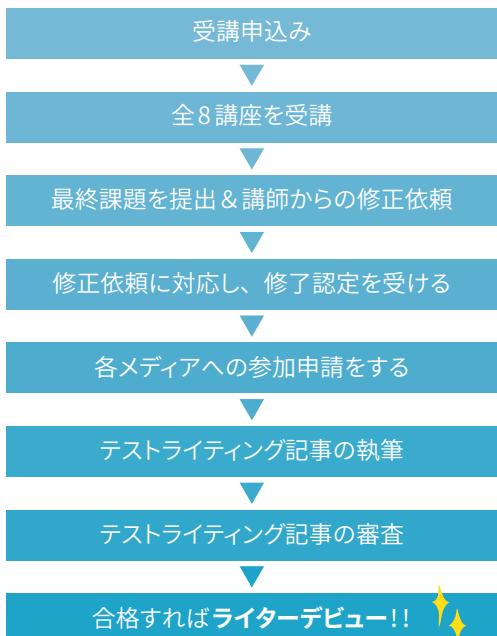
Yahoo!ニュース エキスパートへの紹介START

高梁川流域ライター塾 2022

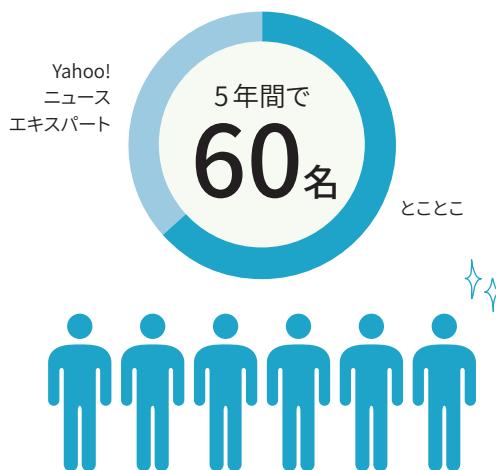
期間 2022年8月28日から10月30日まで全8回
 会場 浅口市／オンライン
 受講料 3,000円 ※学生は無料
 申込人数 135人
 倉敷市 令和4年度高梁川流域地域づくり連携推進事業 採択事業



ライターデビューまでの流れ



ライターデビュー



高梁川流域ライター塾のプログラム

プログラムは毎年更新しています。2024年度の事例を紹介します。

取材



執筆・校正



写真撮影



合計
18 時間

座学・ロールプレイング・実技 を通じて、
市民ライターに必要な3つのスキル を無理なく習得

1 オリエンテーション&求めるライター像

運営するメディアを題材に、求められているライター像、ライターのあるべき姿などを理解します。

- 基本コンセプト、編集方針の紹介
- 基本的な仕事の進め方

など

5 現役ライター経験談&座談会

現役で活躍する市民ライターに、市民ライターの実態や心構えを聞きます。

- 市民ライターのやりがい
- 取材の経験談

など

2 ライティングスキル講座（概論）

市民ライターの仕事がどんなものか理解を深め、同時に執筆（ライティング）についてお伝えします。

- Webサイトの記事が完成するまでの流れ
- 記事を書くにあたり考えたいこと

など

6 取材を行う第一歩講座

取材先となる地域活動のことや、ライター活動のはじめ方などをお伝えします。

- 活動のはじめ方
- 地域への入り方

など

3 写真スキル講座・実技講座

市民ライターに求められる基礎的な写真撮影のスキルについてお伝えします。

- なぜライターに写真のスキルが必要？
- シーンごとの撮影テクニック

など

7 ロールプレイング（疑似体験）

記事執筆・校正・入稿までの流れを学び、実際に取材記事を執筆します。

- 取材・記事執筆・校正・入稿までの流れ
- 疑似取材の内容をもとに記事を書いてみよう

など

4 ライターに必要な税金の知識

市民ライターとして活動する上で、知っておくべき「税金の知識」について学びます。

- どこまでが経費？
- どんな節税があるの？

など

8 記事作成 実践ワーク +受講後説明会

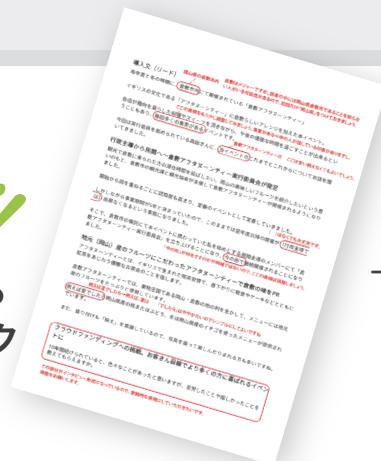
与えられたテーマと構成案に沿って記事を執筆し、より実践に近いライター体験をします。

- テーマと構成案のとらえ方
- 文字数を意識しながら執筆をしてみよう

など

+Yahoo!ニュース エキスパート説明会

充実していると
大好評!



+

現役の編集者による
添削&フィードバック

特別レポート
メールテンプレート
記事校正に使えるリンク集
ToolBox紹介
などの 多数の特典

Message

代表理事・副代表理事からの メッセージ



備後とことこ
統括マネージャー

西山 博行

一般社団法人 はれとこ
代表理事

戸井 健吾

とことこシリーズ
編集長

岡本 康史

地域の魅力を発信するライターの育成に尽力してきました。ライティングの基礎、写真講座、税金関係の講座や実践形式のワークなど、幅広い知識を習得できる充実したカリキュラムを用意しているライター塾。地域への愛着を深め、地域の魅力を言葉で伝える喜びを多くの方に知っていただきたいと考えて講座に向かいました。講座修了後も、地域貢献活動の一環として積極的に執筆活動を行う修了生も多数います。受講生の皆さんの成長を支え、地域を盛り上げる一翼を担う人材育成に力を注げたことに感謝します。

高梁川流域ライター塾の企画で一番こだわったことは、受講後にライターデビューへつなげ、活動が軌道にのるまでサポートする仕組みを作ることでした。結果、5年間で500名以上が受講し、50名以上がライターデビューしました。全員が順調に活動しているわけではありません。しかし、「サポートのおかげで続けられた」と言ってくださる方もたくさんいます。これからも、とことこシリーズ・Yahoo!ニュース エキスパートでのライター活動という形で、市民ライターを志す人を応援できればと思っています。

役員になった当初、代表から「どんな仕事をしていきたい?」と質問がありました。さあ、そう言われても…と思いつつ、パッと頭の中に浮かんだのは「ライターの養成」でした。しかし当時は、まだまだライター／編集者として経験不足。また「ライター塾」のような大規模な想定はありませんでした。そんな中、回を重ねるごとに講師陣や協力者の力で立派なライター塾を開催できるまでになり、とても不思議な縁を感じています。“養成”と銘打っているので、ただ教えるだけではなくサポートを行い、より成長させることを今は考えています。

地域で活動する市民ライターが、地域のイベント、NPO、まちづくり、福祉などの市民活動団体、店舗や企業等に関わる人々を取材し、Webメディアに記録・公開、さらに発信しています。

お店の情報、価格、目玉商品といった「スペック」だけでなく、関係する方々にインタビューし「人」にスポットを当てるにこだわり、運営をしています。

倉敷とことこ
<https://kuratoco.com>



備後とことこ
<https://bintoco.com>



2020年度（第1回）



小溝朱里
OKAYAMA

地域の魅力を自分自身が感じ、それを発信できる人になりたいと思っていた先で出会ったのが、このライター塾でした。ライティングスキルだけでなく、取材の事前準備や実践まであり、当時ライター初心者だった私にとっては心強かったです。おかげではれとこのライターとしてデビュー後は、様々なメディアの取材記事を自信を持って担当できるようになりました。「地域」を軸にライターを学べる場や活躍の場を築いていただき、感謝しております。

2021年度（第2回）



眞鍋忠義
OKAYAMA

2020年頃から、地域やそこで活躍する人々等に興味を持つようになりました。少しづつ、それらの集まりに参加していく中で、出会えたのが高梁川流域ライター塾です。ライターとしての必要なスキルを学ぶことができる上に、ライターとしてデビューできる可能性もあり魅力的でした。現在でも、ライターとしての肩書があることで、普段会えない方々に直接会い、お話を伺えること自体がとても貴重な経験です。仕事もある中で、自分のペースで無理なく記事を書ける環境にも感謝しております、高梁川流域の魅力を1つでも多く発信できるよう続けていきたいと思います。

2022年度（第3回）



紗矢香
OKAYAMA

文章を書くことが好きだったので、基礎を知らず感覚的に書いていたため、しっかり学び身につけたいと思い、ライター塾を受講しました。受講後は、本業の仕事と並行して「倉敷とことこ」のライターとして活動を開始。自分の言葉で地域の魅力や感動を共有できることに喜びを感じ、記事制作に精力的に取り組んでいます。学んだ基礎が自信につながり、文章で人とつながる楽しさをより深く実感できるようになりました。ライター塾での経験が、今の活動を支える土台となっています。

2023年度（第4回）



香村みゆき
HIROSHIMA

「この記事を、私が書く意義ってなんだろう」。これが、ライター2年目に入った私の悩みでした。そこで、取材という新境地を求めてライター塾に飛び込んだんです。講義では、アポの取り方から写真の撮り方まで幅広く学べたため、安心して取材に臨めました。とことこデビュー後は「記事の公開後に良い反応があった」と報告いただいたり、記事を読んだ人に声をかけてもらえたりと、うれしいことが続いています。書いていて良かったと思うことが本当に多いんです。地域に活躍する場があること、大変ありがたく思っています。

2024年度（第5回）



金山徹
OKAYAMA

市民ライターの体験版である「倉敷市民レポーター」としてイベント記事などを寄稿する中で、地域の情報を発信していくことの楽しさを感じ、今回の受講に至りました。修了後は本業である会社員の傍ら、倉敷とことこのライターとして興味関心のある分野を中心に、地域情報の発信をしています。また、これらの経験が自らのポートフォリオとなり、他の案件でもライターのお仕事をいただけるようになりました。普段の生活で出会うことのない多様な人々の感性に触れる能够性があるのは、ライター活動の醍醐味ですね。



Yahoo!ニュース エキスパート

「Yahoo!ニュース エキスパート」はさまざまな分野の専門家やジャーナリスト、クリエイターが自らの知見をもとにユーザーの新しい気づきや考えるヒント、行動につながる情報を発信するプラットフォームです。

Yahoo!ニュース
エキスパート
<https://news.yahoo.co.jp/expert>



2022年度から紹介制度開始

2022年度（第3回）



tamami
makino
TOKYO

もともと文章を書くことは嫌いではありませんでしたが、「きちんとした」また「ためらいなく」文章を書けるようになりたいと思い受講しました。講座では文章の基本だけでなく構成の立て方や写真の編集、取材のシミュレーションまで全体を網羅しているので、実践力と文章を書く楽しさを身につけられたと感じています。Yahoo!ニュース エキスパートとして活動を始めてから1年経たないうちにMVAを2度受賞できたのはこの講座で学んだことが活かされた結果だと思っています。

2023年度（第4回）



末永祐子
(suepi)
OKAYAMA

以前から文章を書く機会はありました。基本を学びたいと思っていたところ、ライター塾の募集を見つけ、スケジュールに無理がなく内容も充実で、良心的な受講料にも魅かれ迷わず申し込みました。受講後は学んだことを活かして多くの人に読んでいただきたいと、Yahoo!ニュース エキスパートへチャレンジをしました。講師からの分かりやすいフィードバックと伴走のおかげで無事活動を始められ、記事で紹介した先からお礼の連絡をいただけることもあり、「書く」ことの喜びと責任を実感しています。

2024年度（第5回）



橋みどり
TOKYO

広島在住の先輩ライターに紹介され、高梁川流域ライター塾を受講しました。ライターとして幅を広げたかったものの、取材ライターは遠い存在でした。そんな私の背中を押したのは、「自分の街を楽しめば毎日がもっと楽しくなる」という言葉。東京からの参加でしたが、Zoom講義は分かりやすく、受講後はYahoo!ニュース エキスパートで執筆の機会を得ました。講師の皆様、そして紹介してくださった先輩ライターに感謝し、今は地域の魅力を発信する取材ライターとして活動しています。

Partner Voices 連携団体のコメント

とことこシリーズ
Yahoo!ニュース エキスパートの
活動を足がかりに、
幅広くライターとして活躍する
修了生も続出！

LINEヤフー株式会社
Yahoo!ニュース エキスパート 地域クリエイター担当

高梁川流域ライター塾では取材に必要な基礎から実践スキルまで丁寧にご指導されているため、活動開始当初から質の高い記事を書くクリエイターを輩出しています。また、クリエイターに対して具体的なアドバイスやフォローもしっかり行ってくださり、はれとこさまはありがたい存在です。

今後の展望

5年という節目を持って、高梁川流域ライター塾は一旦終了します。一方で、私たちは原点である「地域コミュニティ Webメディア」の運営は継続します。5年間高梁川流域ライター塾を開催したこと、私たちの視野も広がりましたし、受講生との横の繋がりも生まれました。私たちには「続ける責任」があります。今後は数年に1度の開催になると思いますが、補助金・助成金に頼らず、「定番のセミナー」として定着させることを目指して運営してまいります。

運営支援のお願い



支援する



Q とことこサポーター

一般社団法人はれとこは2024年11月で設立5周年を迎えました。
現在は以下のような事業を行っています。

公益事業
地域コミュニティ Webメディア「倉敷とことこ」・「備後とことこ」の運営
高梁川流域ライター塾の開催
倉敷市民レポーター教室の開催

収益事業
企業の広報記事など、各種記事制作
オンライン配信支援
メディア運営、ICTツール活用のアドバイザー

これまで収益事業の利益を公益事業に回しながら運営を続けてきました。
しかし、50人以上が関わる大きな活動となった今、収益事業に割ける人員が足りず、
運営が厳しくなっています。それでも「10年続くメディア」を目指し、以下の方針で運営
を続けたいと思っています。

- ・補助金・助成金・スポンサー収入にだけ依存しない
- ・住民にも支えていただく
- ・民間主導で運営する
- ・一定のスキルを得れば、誰でも参加できる

これが私たちの考える「真の地域コミュニティ Webメディア」です。
この夢を実現し、地域を応援する活動を継続するためにも、あなたの支援をお待ち
しています。

協賛：

PEOPLE
SOFTWARE

倉敷木材株式会社

BOAT RACE 淡島

JT

協力：

LINEヤフー

moboa

Stage Person

助成：

EDUCATION AND CULTURE FOUNDATION

福武教育文化振興財団

高梁川流域ライター塾の
最新情報 はこちら

<https://project.haretoco.or.jp/takahashigawa-writer/>

Q 高梁川流域ライター塾

